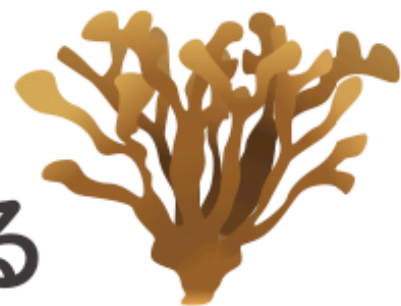


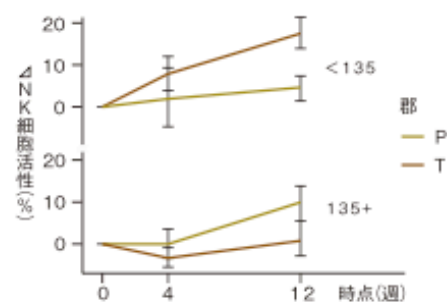
鹿角靈芝の継続摂取が NK細胞活性の変化率を上昇させる



探索的層別解析でLDL-C低値あるいはHbA1c低値の被験者のNK細胞活性の変化量において、鹿角靈芝摂取群が優位な高値を示した。

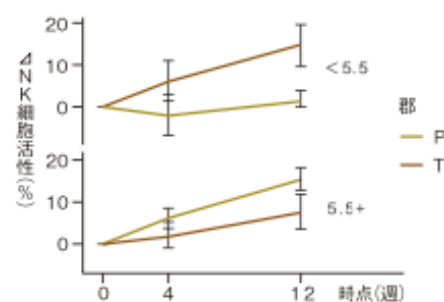
〈図〉 鹿角靈芝粉末の継続摂取による NK 細胞活性変化量 (LDL-C 値あるいは HbA1c 値による層別解析)

NK細胞活性変化量のLDL-C値
135mg/dL未満の被験者での層別解析



上記 摂取前の LDL-C 値が 135 未満の被験者
下記 摂取前の LDL-C 値が 135 以上の被験者

NK細胞活性変化量のHbA1c値
5.5%未満の被験者での層別解析



P=プラセボ食品摂取群
T=被験食品摂取群

上記 摂取前の HbA1c 値が 5.5% 未満の被験者
下記 摂取前の HbA1c 値が 5.5% 以上の被験者

50歳以上70歳未満の日本人男女 (n=24) でNK細胞活性が低めの者に1日2回、1回2カプセルの鹿角靈芝粉末 (480mg) を12週間継続摂取させるプラセボ対照二重盲検並行群間ランダム化比較試験を実施した。NK細胞活性などの免疫指標と職業製ストレス簡易庁舎表によるストレス評価を行った。

薬理と治療, 50(4), 535-550 (2022), 宮崎忠昭, 佐藤孝一, 嶋田貴志, 栗本成敬, 勝山(鏡)豊代

